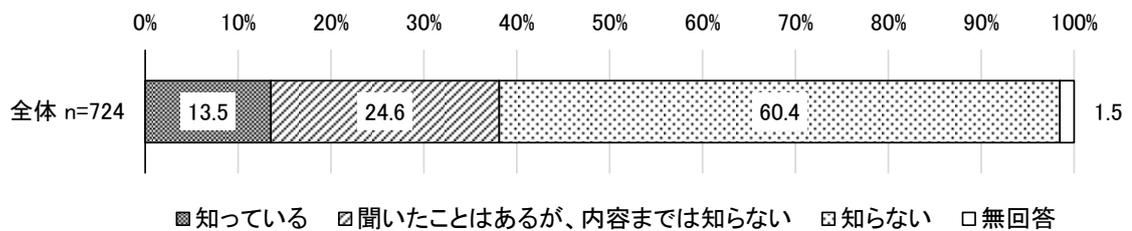


3 公共施設等の再編成について

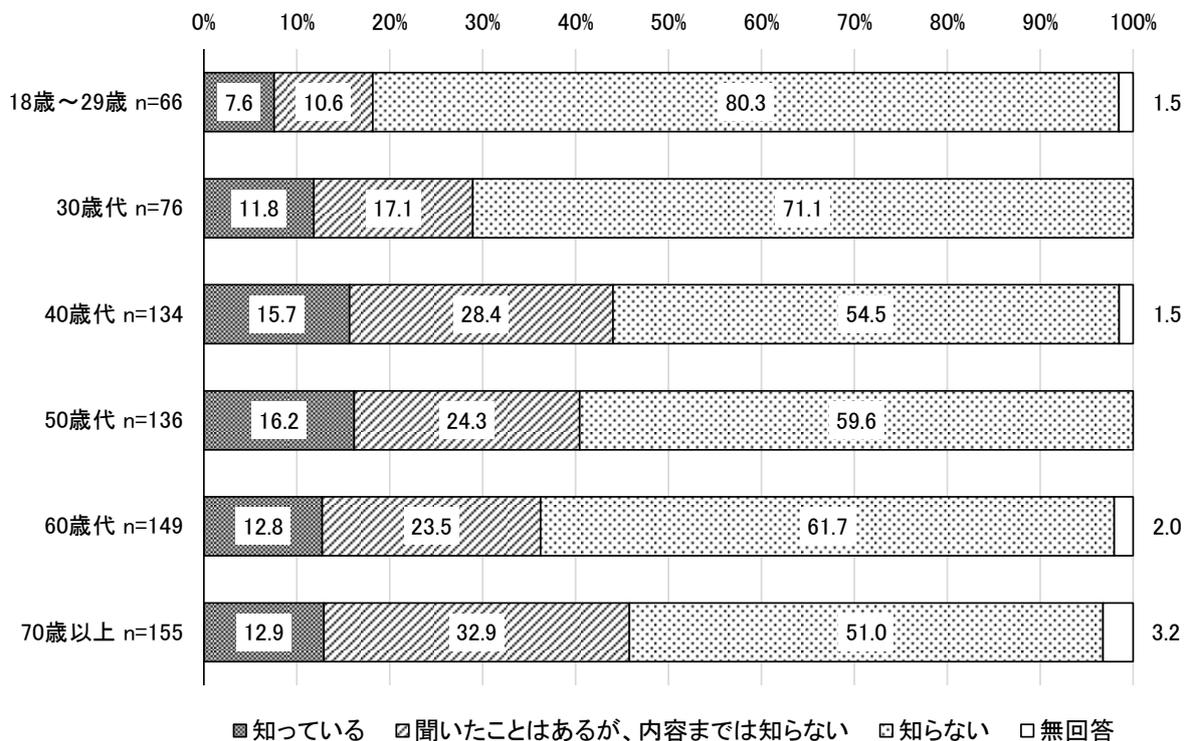
問8 「公共施設等の更新問題」について知っていますか。(○は1つ)

公共施設等の更新問題の認知度については、「知らない」が60.4%で最も高く、次いで「聞いたことがあるが、内容までは知らない」が24.6%、「知っている」が13.5%となっています。



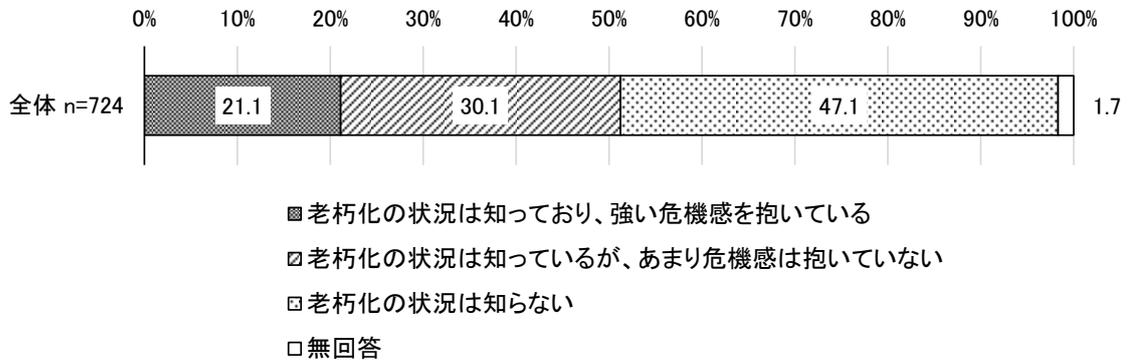
【年齢別】

年齢別にみると、「知っている」は50歳代が16.2%で最も高く、次いで40歳代が15.7%、70歳以上が12.9%となっています。



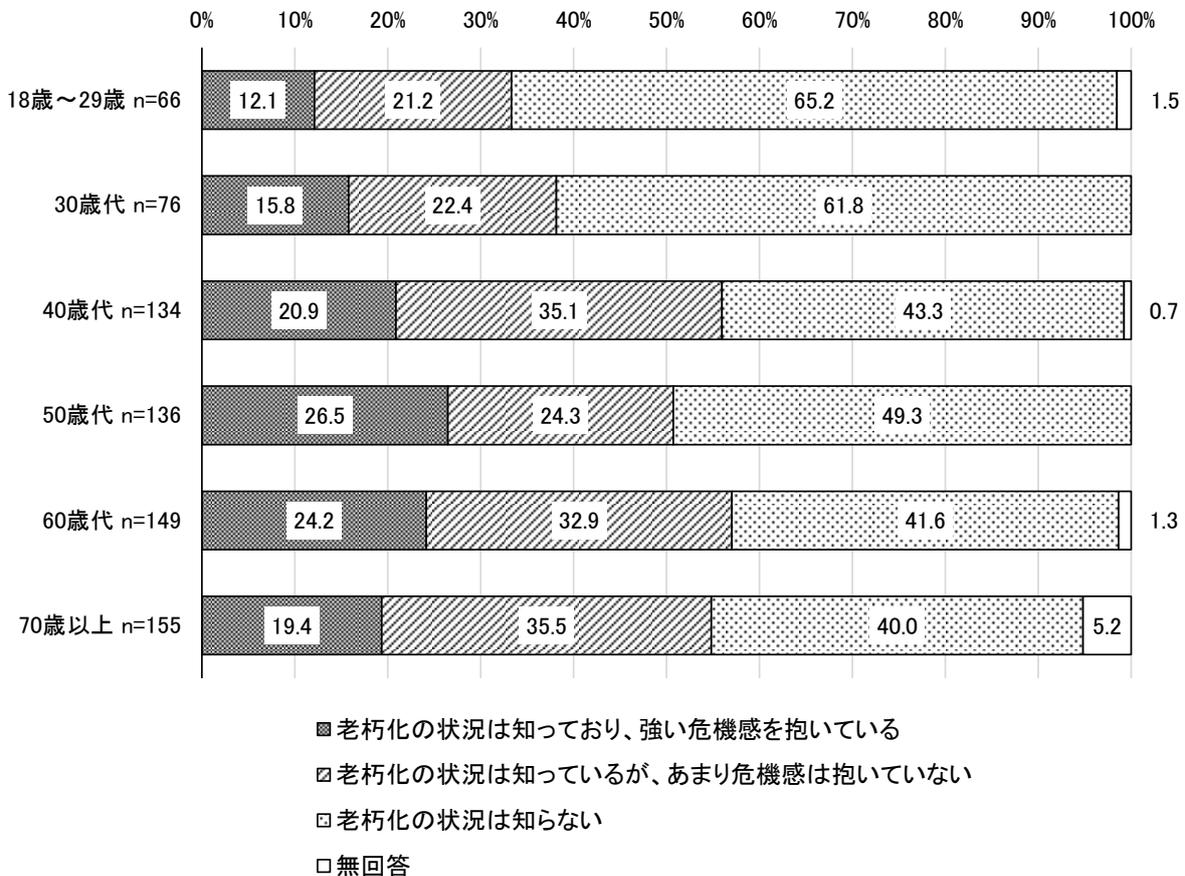
問9 本市では、築30～49年までの公共施設が5割を占めています。公共施設の老朽化について、あなたの考えに最も近いものを選択してください。(○は1つ)

公共施設の老朽化に対する考え方については、「老朽化の状況は知らない」が47.1%で最も高く、次いで「老朽化の状況は知っているが、あまり危機感を抱いていない」が30.1%、「老朽化の状況は知っており、強い危機感を抱いている」が21.1%となっています。



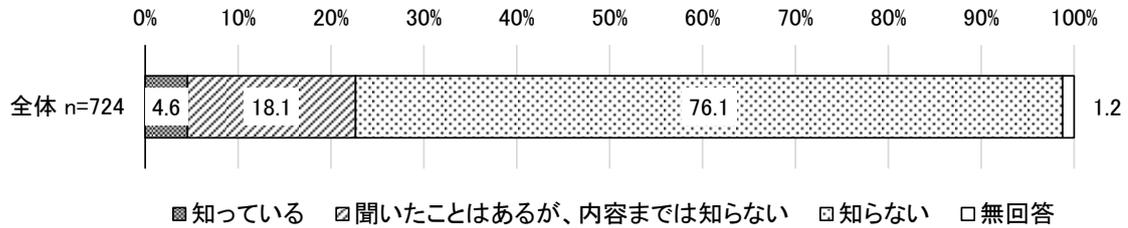
【年齢別】

年齢別にみると、「老朽化の状況は知っており、強い危機感を抱いている」は50歳代が26.5%で最も高く、次いで60歳代が24.2%、40歳代が20.9%となっています。



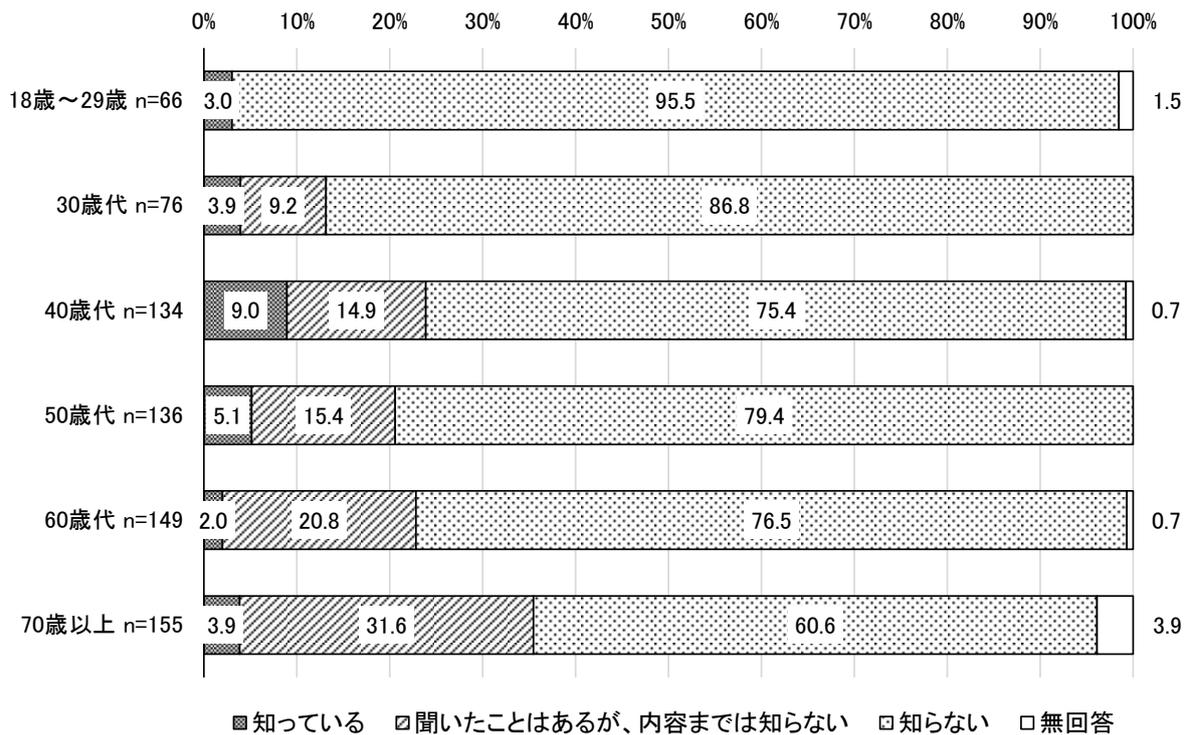
問 10 本市では、公共施設等の更新問題に対応するため、「龍ヶ崎市公共施設等総合管理計画」を策定し取組を進めています。本計画について知っていますか。(○は1つ)

龍ヶ崎市公共施設等総合管理計画の認知度については、「知らない」が76.1%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が18.1%、「知っている」が4.6%となっています。



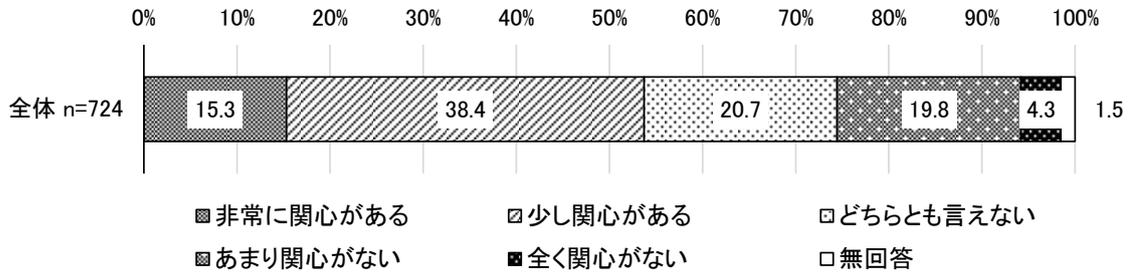
【年齢別】

年齢別にみると、「知っている」は40歳代が9.0%で最も高く、次いで50歳代が5.1%、30歳代、70歳以上がともに3.9%となっています。



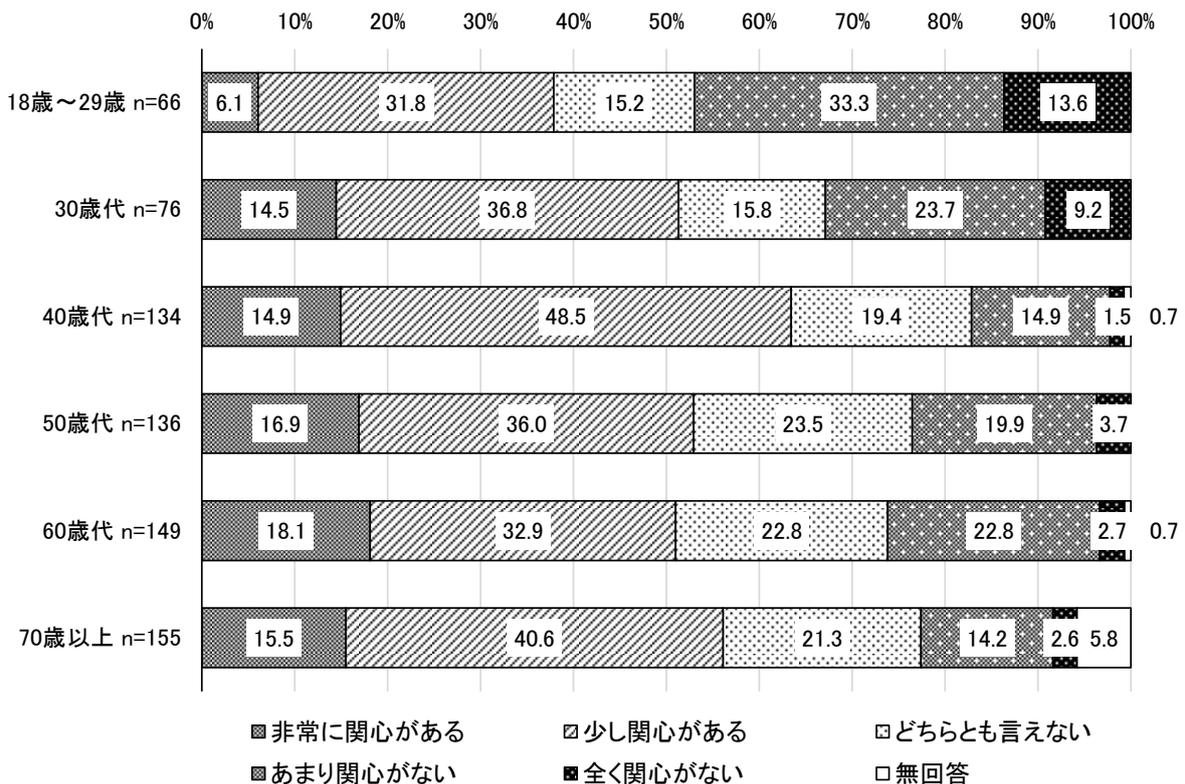
問 11 本市の公共施設等の現状や課題について、どの程度関心を持っていますか。(○は1つ)

公共施設等の現状や課題に対する関心については、「非常に関心がある」と「少し関心がある」の合計値が53.7%、「あまり関心がない」と「全く関心がない」の合計値が24.1%と、『関心がある』が29.6ポイント上回っています。



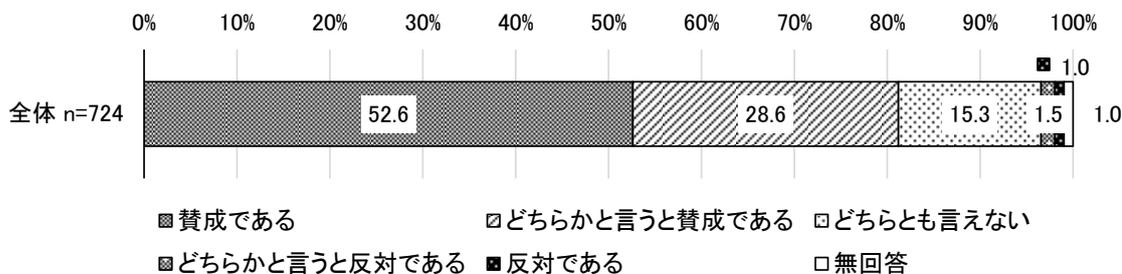
【年齢別】

年齢別にみると、「非常に関心がある」と「少し関心がある」の合計値は40歳代が63.4%で最も高く、次いで70歳以上が56.1%、50歳代が52.9%となっています。



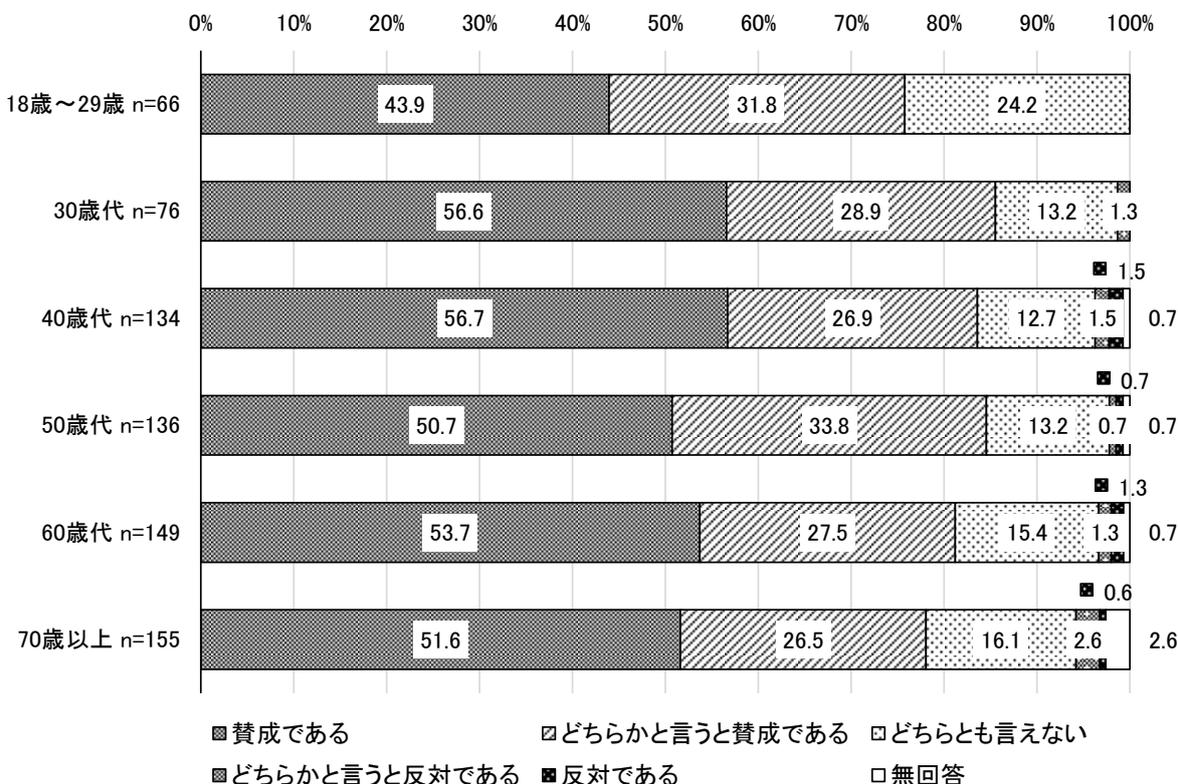
問 12 本市では、道路や下水道などのインフラは、市民生活や経済活動を支える重要な施設であることから、基本的に施設の縮減や廃止は行わない方針としています。
この考え方について、あなたの考えに最も近いものを選択してください。(○は1つ)

基本的に施設の縮減や廃止は行わない方針に対する考え方については、「賛成である」と「どちらかと言うと賛成である」の合計値が81.2%、「どちらかと言うと反対である」と「反対である」の合計値が2.5%と、『賛成』が78.7ポイント上回っています。



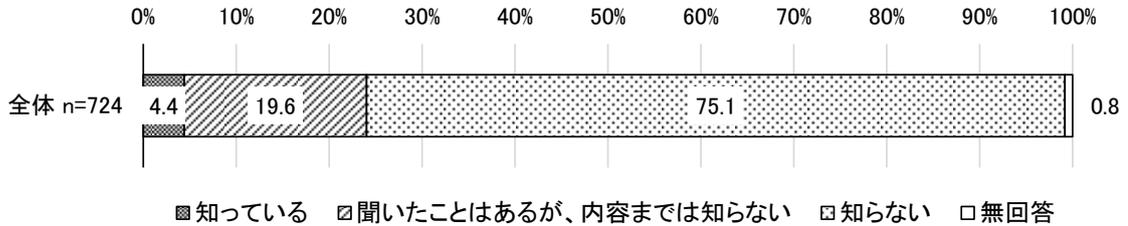
【年齢別】

年齢別にみると、「賛成である」と「どちらかと言うと賛成である」の合計値は30歳代が85.5%で最も高く、次いで50歳代が84.5%、40歳代が83.6%となっています。



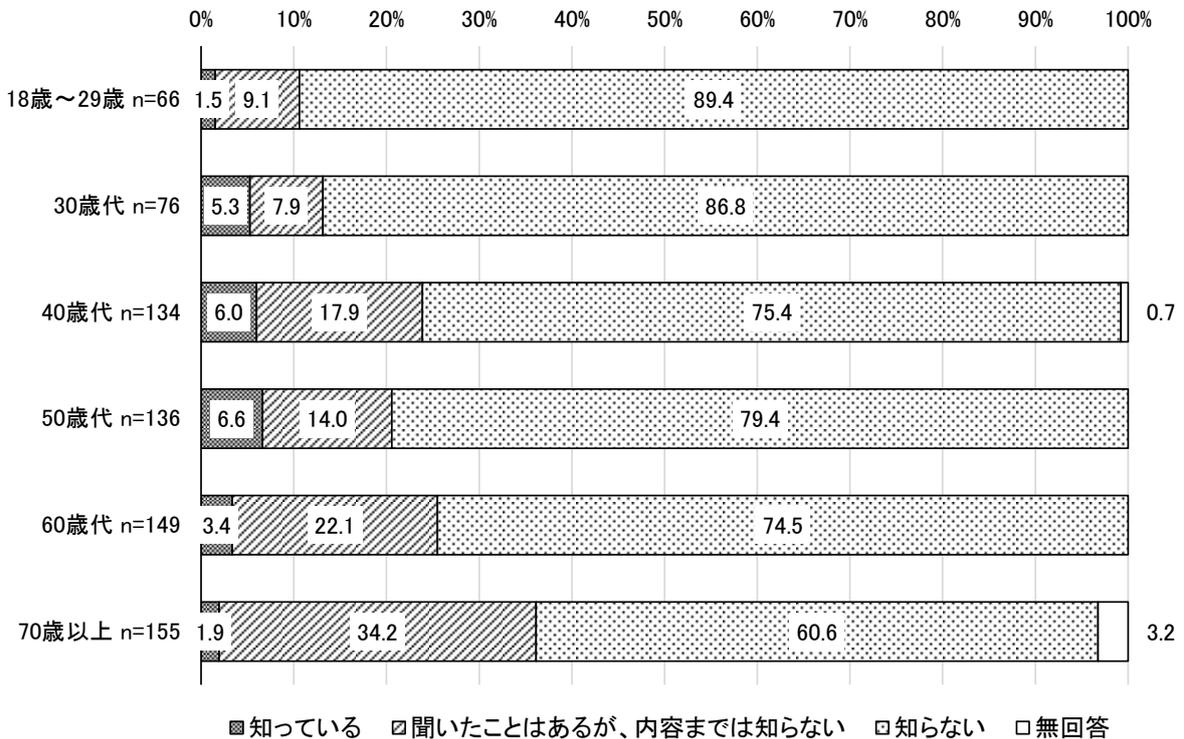
問 13 本市では、公共施設の管理に関する基本方針として、「①総量の削減」を最優先に、「②既存施設の有効活用」、「③効果的・効率的な管理運営」の3つを掲げています。この基本方針について知っていますか。(○は1つ)

3つの基本方針の認知度については、「知らない」が75.1%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が19.6%、「知っている」が4.4%となっています。



【年齢別】

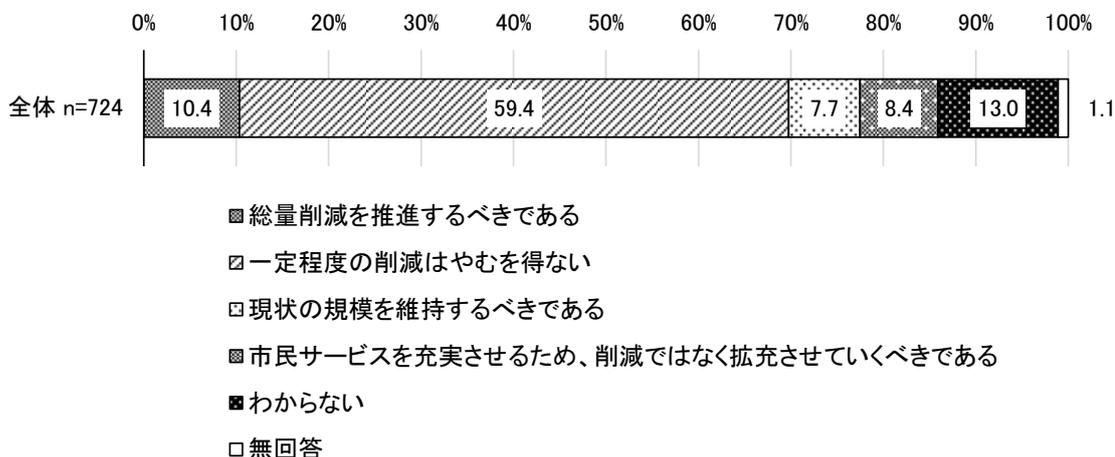
年齢別にみると、「知っている」は50歳代が6.6%で最も高く、次いで40歳代が6.0%、30歳代が5.3%となっています。



問 14 公共施設の「総量の削減」について、あなたの考えに最も近いものを選択してください。
(○は1つ)

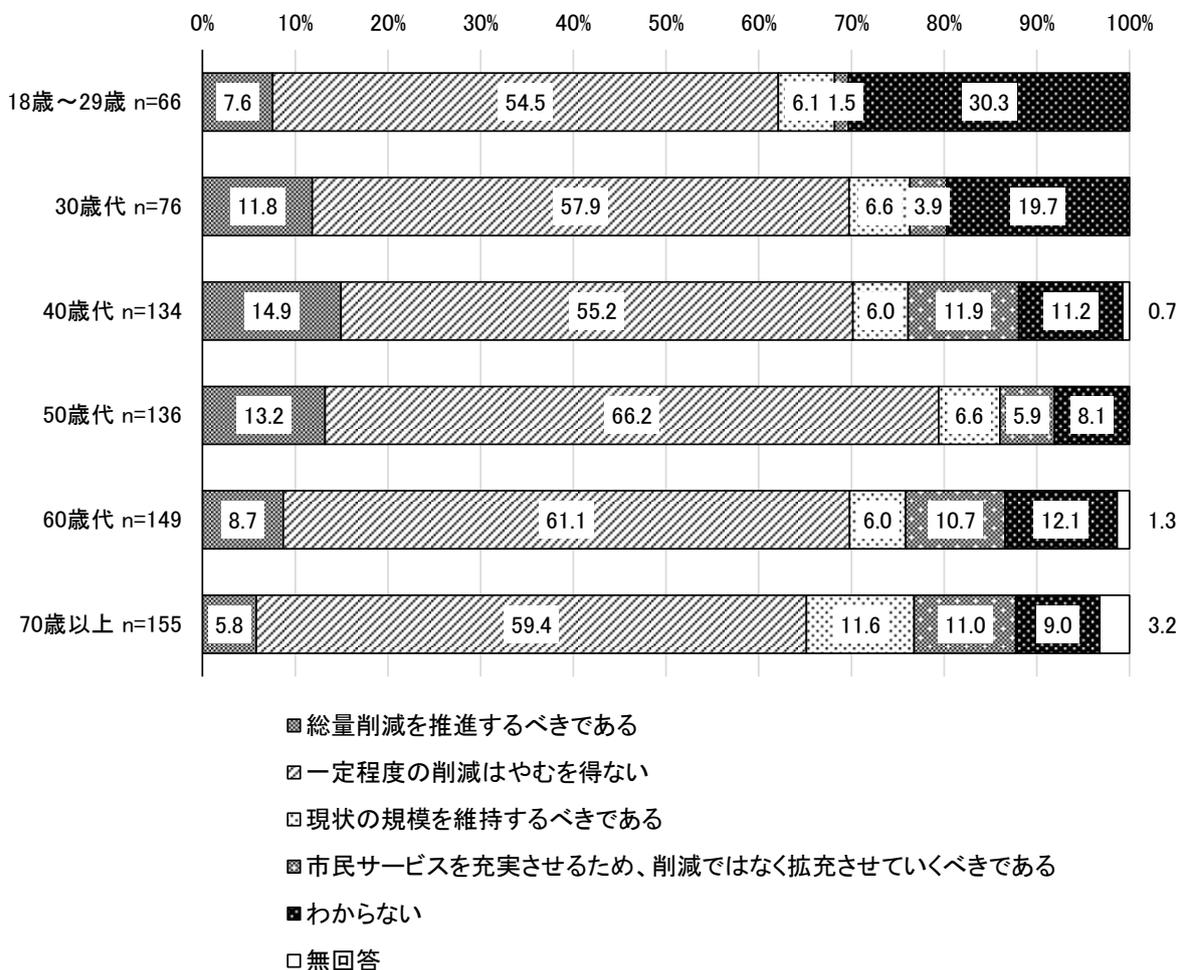
公共施設の総量の削減への考え方については、「一定程度の削減はやむを得ない」が59.4%で最も高く、次いで「総量削減を推進するべきである」が10.4%、「市民サービスを充実させるため、削減ではなく拡充させていくべきである」が8.4%となっています。

なお、「わからない」は13.0%となっています。



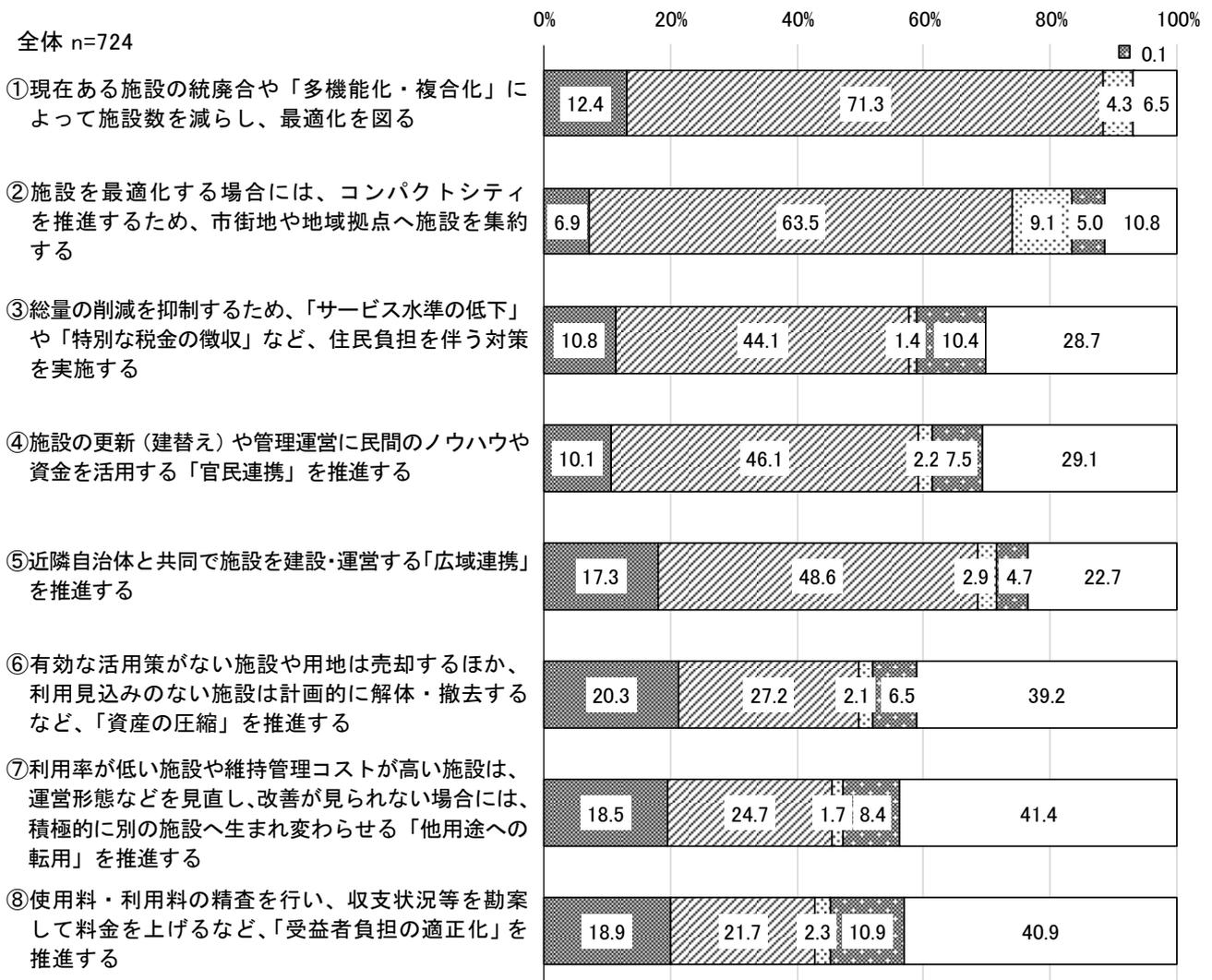
【年齢別】

年齢別にみると、「総量削減を推進するべきである」は40歳代が14.9%で最も高く、次いで50歳代が13.2%、30歳代が11.8%となっています。



問 15 「公共施設等が担うべき必要性の高い機能を確保」していくためには、総量削減だけでは財源は不足してしまいます。施設の改修や更新（建替え）、維持管理費用を確保するためには様々な方策が考えられますが、下表の方策ごとにあなたの考えに最も近いものを選択してください。（再編成の方策ごとに○は1つ）

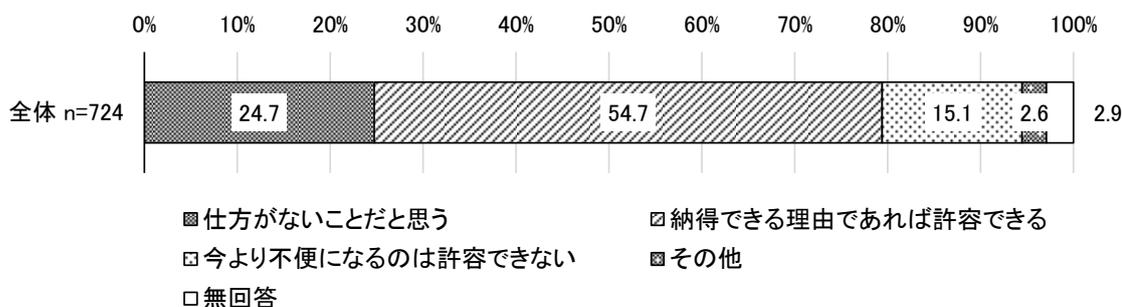
各方策に対する考え方について、「積極的に実施すべき」と考えられている方策は、『⑥有効な活用策がない施設や用地は売却するほか、利用見込みのない施設は計画的に解体・撤去するなど、「資産の圧縮」を推進する』が 20.3%で最も高く、次いで『⑧使用料・利用料の精査を行い、収支状況等を勘案して料金を上げるなど、「受益者負担の適正化」を推進する』が 18.9%、『⑦利用率が低い施設や維持管理コストが高い施設は、運営形態などを見直し、改善が見られない場合には、積極的に別の施設へ生まれ変わらせる「他用途への転用」を推進する』が 18.5%となっています。



- 積極的に実施すべき
- ▨ どちらかといえば実施すべき
- ▩ どちらかといえば実施すべきではない
- 実施すべきではない
- 無回答

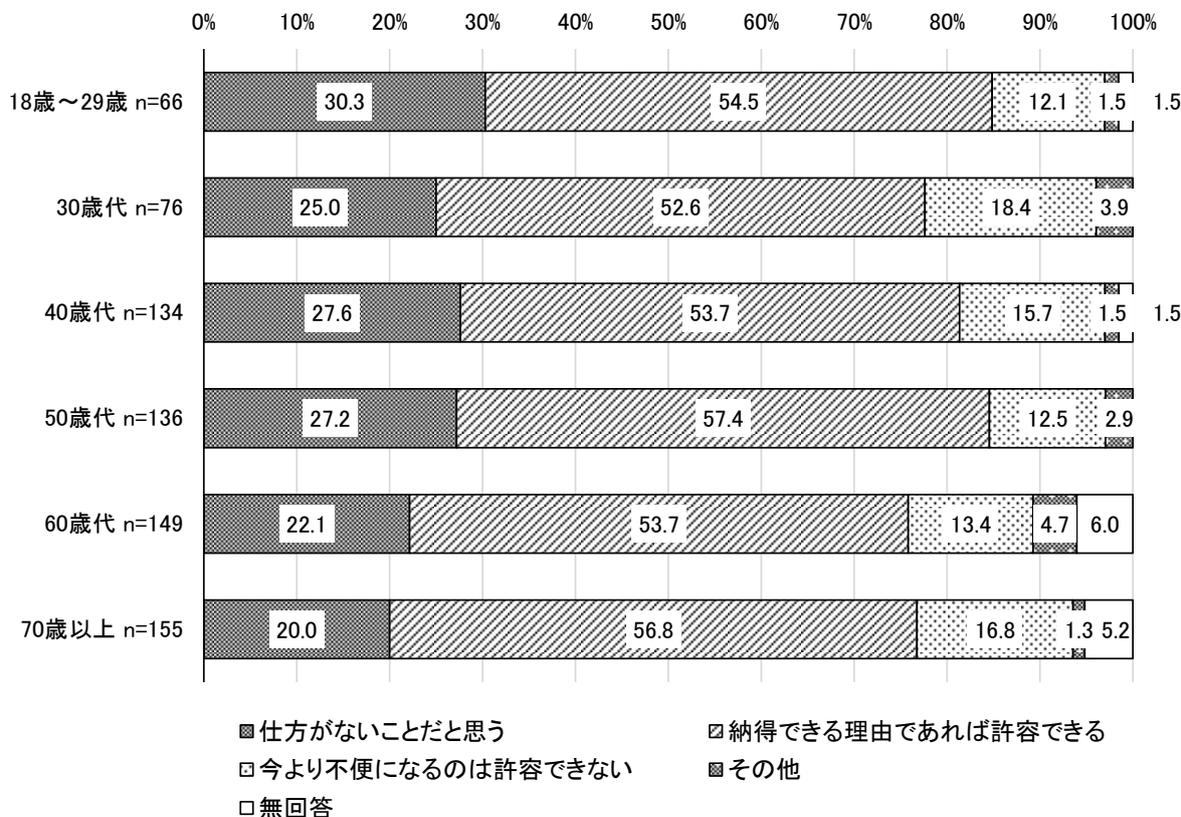
問 16 公共施設等の再編成（施設の統合・廃止、移転・集約、民営化など）を進めると、施設が遠くなったり、利用していたサービスや施設自体が無くなる場合があります。このことについてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを選択してください。（○は1つ）

公共施設等の再編成により生じる利便性の低下等に対する考え方については、「納得できる理由であれば許容できる」が54.7%で最も高く、次いで「仕方がないことだと思う」が24.7%、「今より不便になるのは許容できない」が15.1%となっています。



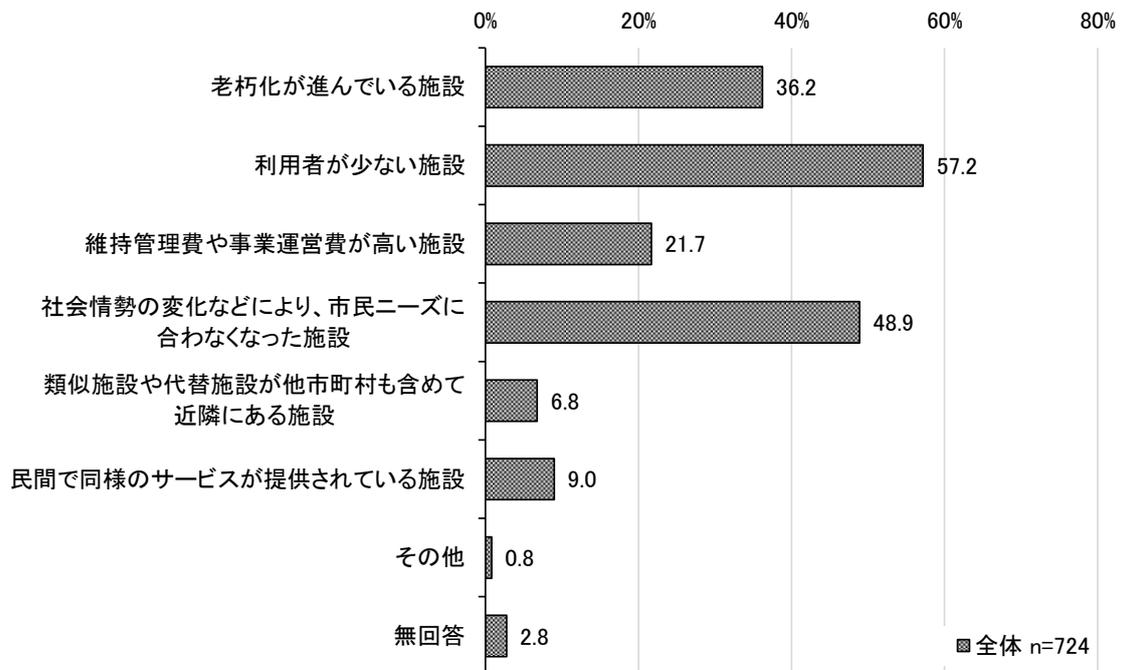
【年齢別】

年齢別にみると、「仕方がないことだと思う」は18歳～29歳が30.3%で最も高く、次いで40歳代が27.6%、50歳代が27.2%となっています。



問 17 公共施設等の再編成（施設の統合・廃止、移転・集約、民営化など）を進めるにあたり、どのような観点から見直すべきだと思いますか。（○は2つまで）

どのような観点から公共施設等の再編成を見直すべきかについては、「利用者が少ない施設」が57.2%で最も高く、次いで「社会情勢の変化などにより、市民ニーズに合わなくなった施設」が48.9%、「老朽化が進んでいる施設」が36.2%となっています。

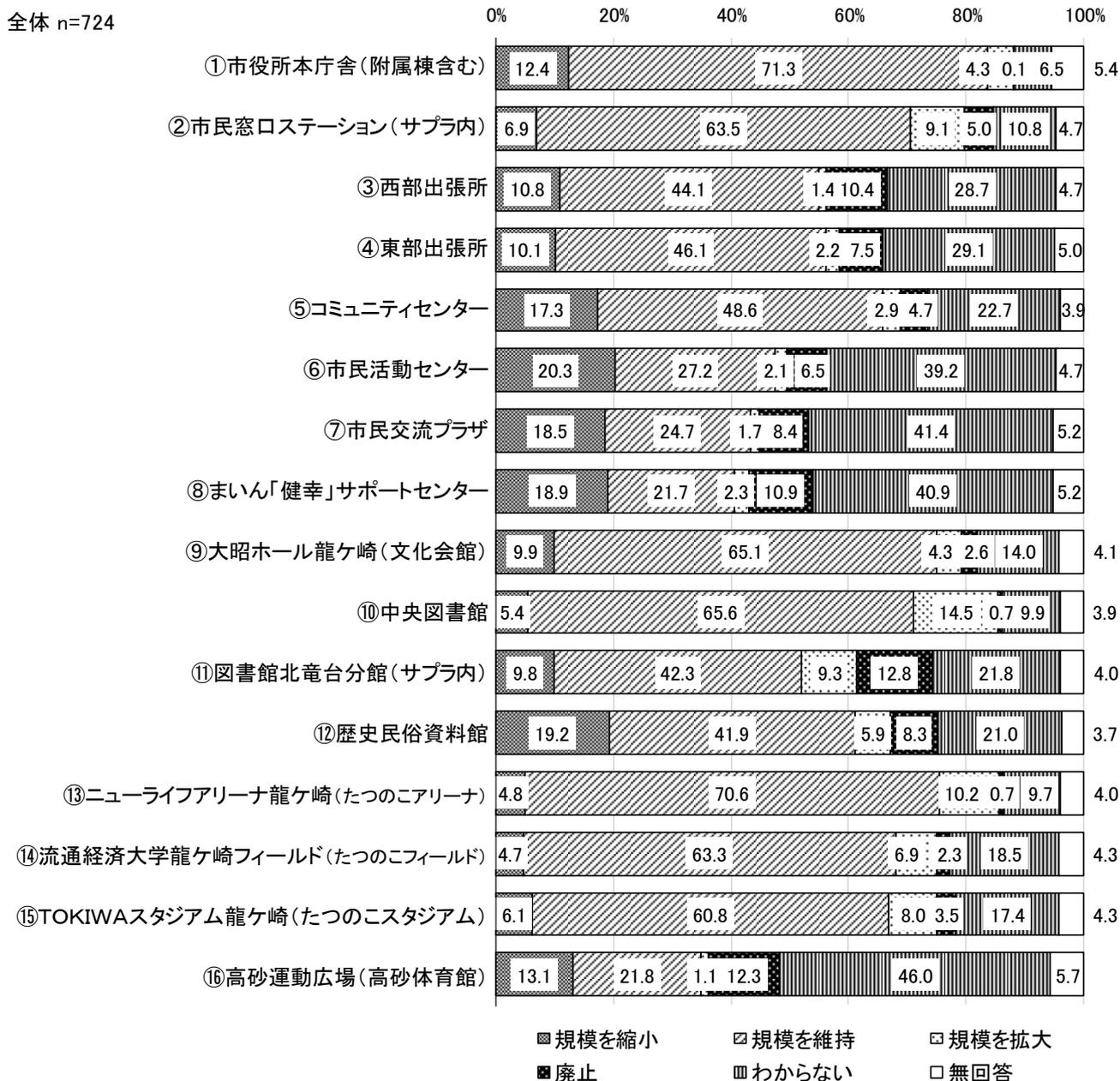


問 18 施設の今後の在り方について、あなたの考えに最も近いものを選択してください。
(施設ごとに○は1つ)

施設の今後の在り方に対する考え方について、「規模を縮小」をみると、『⑥市民活動センター』が20.3%で最も高く、次いで『⑫歴史民俗資料館』が19.2%、『⑧まいん「健幸」サポートセンター』が18.9%となっています。

また、「廃止」をみると、『⑱観光物産センター』が13.4%で最も高く、次いで『⑪図書館北竜台分館(サブラ内)』が12.8%、『⑯高砂運動広場(高砂体育館)』が12.3%となっています。

なお、「規模を維持」をみると、『①市役所本庁舎(附属棟含む)』、『⑬ニューライフアリーナ龍ヶ崎(たつのこアリーナ)』が7割台、『②市民窓口ステーション(サブラ内)』、『⑨大昭ホール龍ヶ崎(文化会館)』、『⑩中央図書館』、『⑭流通経済大学龍ヶ崎フィールド(たつのこフィールド)』、『⑮TOKIWAスタジアム龍ヶ崎(たつのこスタジアム)』、『⑳保健センター』が6割台となっています。



全体 n=724

